



# おくたま 町議会だより

## 第181号

平成 29 年 5 月 5 日発行



編集・発行 奥多摩町議会 電話 0428-83-2302(直通) 奥多摩町ホームページ <http://www.town.okutama.tokyo.jp/>

## 奥多摩町・檜原村議会議員合同研修会



平成 29 年 2 月 2 日 (木)

檜原村議会議員と合同で研修会を実施しました。「人口減少社会における自治体経営」と題して、一橋大学副学長・大学院法学研究科教授の辻 琢也氏をお招きし、ご講演いただきました。奥多摩町と檜原村の現状を踏まえた課題や人口が減少していく中での他市町村の成功事例の解説等、貴重なお話を聞くことができ、大変有意義な研修会となりました。

## 西多摩郡町村議会議員研修会

平成 29 年 2 月 9 日 (木)  
日の出町役場にて「被災後のリスクに目を向ける～東日本大震災・熊本地震 4 万 8 千件の声に学ぶ『生活再建の知識の備え』」と題し、弁護士の岡本 正氏からご講演いただきました。災害支援制度の知識習得を防災教育に組み込むことの重要性を勉強することができました。町の防災体制にもつなげられないか考えさせられたところでありませす。



## 第1回定例町議会

第1回定例会は、3月7日から3月22日までの、会期16日間にわたり開催されました。

## 平成29年度予算

平成29年度の各会計予算は、本会議第2日に提案され、議長を除く11名で構成する予算特別委員会に審査が付託されました。3月14日、16日の2日間にわたり開会された予算特別委員会で、内容説明、質疑等が行われ、22日の本会議で採決の結果、次の全8会計予算とも賛成多数により可決されました。

○議案第22号

山のふるさと村管理運営事業特別会計

○議案第23号

国民健康保険特別会計

○議案第24号

後期高齢者医療特別会計

○議案第25号

介護保険特別会計

○議案第26号

下水道事業特別会計

○議案第27号

国民健康保険病院事業会計

## 予算特別委員会質疑

○一般会計

歳入

・ 町税の滞納状況

・ 税収の動向

・ 学校教育におけるタブレット端末導入による具体的な効果

・ 青目立不動尊休み処の運営

・ ふるさと納税の見込

・ ごみ処理手数料の内容

・ 河川等清掃委託の内容

・ 町道維持補修工事の内容

・ 農業費国庫補助金の内容

・ 歳入全般について

・ 入湯税増収の取組

歳出

・ 原生活館建設工事の内容

・ バス路線維持対策費補助金の積算根拠

・ 自動車用備品、庁用車の内容

・ 防犯カメラの内容

・ 町有財産（大氷川・棚沢）工事請負費の内容

・ 庁舎建設基金積立金の内容

・ 旧レイクサイド奥多摩の活用

・ 空家等対策基本条例に関する予算

・ 職員海外派遣研修の内容

・ ふるさと納税業務委託の内容

・ 南氷川街灯組合負担金の内容

・ 旧地上権貸地料等の内容

・ 高齢者施策の周知拡大の検討

・ 紙おむつ給付の内容

・ 受験生チャレンジ支援貸付事業委託の内容

・ 寄付物件工事費の内容

・ 空家等活用促進事業交付金の内容

・ 障害者施設入所支援の内容

・ 森林セラピー健康づくり委託の内容

・ 保健推進活動事業補助金の内容

・ PCB廃棄物の処理委託の内容

・ 下水道の未接続世帯への対応

・ 観光客誘致宿泊補助事業の内容

・ 松くい虫駆除対策事業の内容

・ 観光用公衆トイレ総合清掃委託の方向性

・ 奥多摩小屋施設解体等業務委託の内容

・ 観光トイレ改修工事の内容

・ 西多摩地域入込客数調査負担金の内容及び活用方法

・ 簡易給水施設の今後について

・ 治助イモ普及促進協議会委員報償の内容

・ 地籍調査事業の今後の予定

・ 鳩の巣御岳線予備設計委託の内容

・ 白丸丸の内西線道路新設工事の内容

・ 奥多摩駅前トイレ改修の計画

・ ワラビ栽培管理の進捗状況

・ シカ対策用モノレールの活動

○議案第20号

一般会計

○議案第21号

都民の森管理運営事業特別会計

## 状況

- ・農作物獣害防止対策事業警戒システムの活用方法
- ・若者住宅（大丹波地区・小丹波地区）建設工事規模
- ・コミュニティスクールが目指す方向性
- ・旧給食センターの今後の活用
- ・細菌検査手数料の内容
- ・防災行政無線デジタル更新委託の内容
- ・ふれあい館改修工事負担金の内容

- ・郷土芸能映像記録の進捗状況
- ・歩く大会運営委託の積算根拠
- ・一時借入金利子の内容
- ・ドローン研究費用の有無
- ・事務事業の事後検証の状況

○山のふるさと村管理運営事業  
特別会計予算

## 歳出

- ・ピアノの使用状況

○国民健康保険特別会計

## 歳入

- ・国民健康保険税世帯別試算

## 歳入

- ・糖尿病性腎症重症化予防事業委託の内容

○後期高齢者医療特別会計予算

## 歳入

- ・滞納状況とその理由

○介護保険特別会計予算

## 歳入

- ・滞納状況とその理由

## その他の町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも賛成多数により可決されました。

## 条 例

○議案第1号

空家等対策基本条例

○議案第2号

町税賦課徴収条例等の一部を改正する条例

○議案第3号

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

○議案第4号

介護保険条例の一部を改正する条例

○議案第5号

介護保険指定地域密着型サー

ビスの事業の人員、設備及び

運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

○議案第6号

介護保険地域支援事業利用者負担条例の一部を改正する条例

指定管理者の指定

○議案第7号

福祉会館の指定管理者の指定

○議案第8号

大沢国際釣場の指定管理者の指定

○議案第9号

丹縄亭の指定管理者の指定

○議案第10号

資源収集車（2tトラック）購入契約について

○議案第11号

資源物運搬用アームロール車及び専用コンテナボックス購入契約について

○議案第12号

一般会計（第6号）

○議案第13号

都民の森管理運営事業特別会計（第3号）

○議案第14号

山のふるさと村管理運営事業特別会計（第3号）

○議案第15号

国民健康保険特別会計（第3号）

契 約

○議案第16号

後期高齢者医療特別会計（第2号）

○議案第17号

介護保険特別会計（第2号）

○議案第18号

下水道事業特別会計（第3号）

平成28年度補正予算

○議案第19号  
国民健康保険病院事業会計(第2号)

## 議員提出議案

次の議案が提出され、いずれも賛成多数により可決されました。

○議員提出議案第1号

議会議員の議員報酬等の特例に関する条例

○議員提出議案第2号

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

## 陳情審査

趣旨採択

○陳情第1号  
介護保険制度の改善を国に求める陳情書

## 議員の賛否

賛否が分かれた議案のみ掲載

[賛成…○ 反対…×]

12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	議席番号
須崎 眞	師岡 伸公	村木 征一	原島 幸次	高橋 邦男	宮野 亨	石田 芳英	小峰 陽一	清水 明	澤本 幹男	大澤 由香里	木村 圭	議員名 議案番号
議長(採決には加わりません)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議案第3号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議案第23号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議員提出 議案第2号

### — 議員提出議案第1号 奥多摩町議会議員の議員報酬等の特例に関する条例について —

議員の職責および奥多摩町議会への住民の信頼の確保に鑑み、議員が町議会の会議等を長期(91日以上)にわたって欠席した場合、議員報酬および期末手当を減額することを規定したものの。

### — 議員提出議案第2号 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について —

全国の町村議会では、議員のなり手不足が深刻化、議員を退職した後の生活の保障も基礎年金しかない状況。住民の代表として、議会がこれまで以上にまちづくりにしっかり関わっていくためには、幅広い層の世代の方々が議員をやろうと思うような環境作りを行っていかねばならない。そのためには、地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにする事で、議員を志す新たな人材確保につながっていくと考え、この意見書を衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・内閣官房長官・財務大臣・厚生労働大臣・総務大臣に提出しました。

# 一般質問

平成29年第1回定例会では、11名の議員が一般質問を行いました。ここでは、紙面の都合により、内容を要約して質問者順に掲載しています。質問・答弁の全文は、5月中旬頃より、ホームページで閲覧できます。(町ホームページ～町議会～会議記録)

また、町内各図書館でも会議録をご覧いただけます。



町ホームページは、スマートフォン・タブレット端末等でもご覧いただけます。

(1) 8番 高橋 邦男議員 (6ページ)

- ①JR青梅線の合理化について
- ②災害への「備え」(自助・共助)について

(2) 1番 木村 圭議員 (6ページ)

- ①東京都が進めている「自然公園ビジョン」の策定について

(3) 6番 石田 芳英議員 (7ページ)

- ①わさびグッズの状況や今後の販売について

(4) 3番 澤本 幹男議員 (7ページ)

- ①JR川井駅前周辺の道路整備について

(5) 9番 原島 幸次議員 (8ページ)

- ①「多摩川南岸道路建設」促進に町の対応と姿勢について

(6) 11番 師岡 伸公議員 (8ページ)

- ①消費者教育の推進を
- ②奥多摩町におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進について

(7) 10番 村木 征一議員 (9ページ)

- ①マイナンバーカードの申請状況と今後の申請サポートについて

(8) 5番 小峰 陽一議員 (9ページ)

- ①災害発生時に対応可能な大氷川地域の道路環境の整備を!

(9) 4番 清水 明議員 (10ページ)

- ①白丸ダム魚道に至る国道の歩道整備について
- ②省電力への取り組みについて

(10) 2番 大澤 由香里議員 (10ページ)

- ①施政方針について
- ②買い物弱者支援策について

(11) 7番 宮野 亨議員 (11ページ)

- ①女性消防団員確保の推進について



8番 高橋邦男議員



**問 JR青梅線の安全確保のため、駅の無人化、職員削減の見直しの申し入れを。**

**答 JRを利用する住民や観光客へのサービスの低下がこれ以上進まないようJRへ働きかけを行っていく。**

高橋 ①西多摩地域広域行政圏協議会からJRへ安全確保の面で、駅の無人化・職員削減の見直しの申し入れを②駅構内の安全確保がJR側で不十分な場合に、地方自治体の公費の投入は。

町長 ①昨年8月にJR八王子支社に出向き、駅の無人化対策について直接八王子支社長に要望を行った。今後も4市3町1村の各市町村と連携を図り、利用者へのサービスが低下しないよう対応していく。②駅構内の安全確保を地元自治体が費用を負担している団体は全国的にも例がない。駅の無人化対策については、青梅線、五日市線、八高線を有する西多摩地域広域行政圏協議会の関係市町村が共有する問題でもあるので今後重要課題として取り組んでいく。

#### 《その他の質問》

**高橋 災害への備え（自助・共助）の状況。**

町長 全世帯へ災害対策用品を詰めた非常持ち出し袋の配布を考えている。自治会毎にある自主防災組織の活動を支援し、有事の際に備える。各自治会の事情に合わせて訓練を消防団等と協力してさらに効果的なものになるよう検討していく。

1番 木村圭議員



**問 東京都が進めている「自然公園ビジョン」の策定にあたり、町のこれまでの取り組みと今後の取り組みは。**

**答 町の現状と課題について意見してきた。東京都と連携を図りながら「観光立町」を推進していく。**

木村 観光立町を表明している町としては、都の「自然公園ビジョン」が町の地域・観光振興などに大きな影響をあたえると考えるが、取り組み状況は。

町長 町では、都が管理している公衆トイレも含め、外国人や現代社会の生活様式に沿った洋式便座の整備が少なく、また登山道等でのバイオマストイレがほとんど設置されていないことから整備する必要があり、案内看板やガイドなど外国人観光客の対応が遅れていることから整備が必要であること、バリアフリー化がほとんど図られておらず障害者・高齢者でも自然に触れられるバリアゾーンの整備が必要であること等、多岐に渡る課題について意見し、本ビジョン策定に向け積極的に取り組んできた。

ビジョン中間まとめ（案）では、町からの意見が施策や課題に盛り込まれていることから、町の考えを十分に理解いただいている。ビジョン策定後には、様々な施策が事業として実現されるよう、市町村等への補助事業の創設等も含め、様々な機会を通じて要望していく考えである。町全域が秩父多摩甲斐国立公園である強みと特性を活かし、都と連携を図りながら観光立町を推進していく。

## 6番 石田芳英議員



## 問 わさびグッズの状況や今後の販売は。

答 しばらくの間は、様々なグッズを作成し、町のPRに努めていく。

石田 ①わさびグッズの種類や状況は。②商標等の法的保護は。③今後のグッズの活用や販売などの方針は。

町長 ①無料通信アプリLINE(ライン)のスタンプ、8センチサイズのぬいぐるみストラップ、ボールペン、虫よけワッペンシール、オリジナル絆創膏、リフレクターバンド、シヨッピンングバッグ、キヤラクターシールなどがあり、1千個程度の少数生産で量産化する場合の試作用の意味合いも含めて作成を行っている。②商標権者を奥多摩町として平成27年12月4日付けで、特許庁長官名による商標登録証の交付があり、法的保護を行っている。③本年は雲取山の標高2017メートルと重なり、雲取イヤーと言えることから雲取山をイメージさせる絵柄をグッズに採り入れ、町へ誘う要素も表現したい。今しばらくの間は、様々なグッズを作成し、町のPRに努めていくが、一定の段階からは、各種団体や企業が主体的に独自のグッズの開発や作成に取り組み、販売の促進や観光客誘致、町の活性化あるいは経済効果につながるように取り組んでいくよう考えている。

## 問 JR川井駅前周辺の道路整備を。

答 地元地域の皆さんや関係自治会の意見や要望を取り入れながら検討していく。

## 3番 澤本幹男議員



澤本 川井駅を利用する住民や観光客・事業者・日本語学校の学生等、今後の奥多摩町発展のためにも川井駅の改札前まで自動車で行き、電車に乗り降りができるよう道路整備を。

町長 現在工事を進めている大丹波地区の南平熊沢線は平成30年度に大丹波川をまたぐ橋を架け、都道202号線と接続することで、川井駅方面への利便性が向上するとともに、緊急時の対応も迅速に行われることで、住民皆さんの安全・安心も確保できるものと考えている。今後の川井駅周辺の整備については、南平熊沢線が都道202号に接続した段階で、改めて、地元地域の皆さんや関係自治会の意見や要望を聞き、検討していきたい。また、その際には、JRや土地所有者もおられるので総合的な判断をしたい。



## 9番 原島幸次議員



## 問 「多摩川南岸道路建設」促進に町の対応と姿勢は。

答 東京都並びに関係する住民皆さんに対して全面的に協力し、安全・安心の確保を図っていききたい。

原島 災害・緊急時の地域の孤立化を防止するため、多摩川南岸道路の計画が始まり、現在は全体の70%が完成したことが東京都建設局の資料からわかった。その後1.9kmを残す棚沢住安戸地区から丹三郎地区への工事の計画についての進捗が無いように思われる。今現在の状況、建設局の対応は。今後の町の対応は。

町長 東京都では現在、現地調査と測量を行い、道路線形等の検討に入っていると聞いている。道路建設には、何よりも道路用地を提供いただく地権者の同意が必要となる。東京都は関係者との同意形成に向け努力を重ね、全線を完成させたいと考えている。町としても東京都並びに関係する住民皆さんに全面的に協力し、多摩川南岸道路の早期完成と安全安心の確保を図っていききたいと考えている。



## 11番 師岡伸公議員



## 問 消費者教育の推進を。①児童・生徒への消費者教育の現状と今後は。

答 ①関連する各教科の学習内容と消費者教育を結び付け学習を進めている。今後も児童・生徒の発達段階に合った教材を選択・活用しながら指導を行っていく。

師岡 ②成人者・高齢者への啓発活動は。③成人式を利用して成人者への消費者教育をしたらどうか。

町長 ②西多摩地区の8市町村で西多摩地域広域行政圏消費者生活相談広域連携に関する協定を締結し、年2回講習会等を実施。広報や防災無線でお知らせ。町における消費者被害への対応は、元東京都消費生活総合センター相談員を専門員とする消費者相談窓口を隔月で年6回開催している。また、青梅警察署から青梅・奥多摩地区の振り込め詐欺等の消費者被害の情報等を提供いただき、日頃の民生委員活動に活かしていただいている。③どのような資料を配布するのが最も良いか検討していく。

## 《その他の質問》

師岡 オリンピック・パラリンピック教育の推進。今までの取り組みと今後の取り組みは。

教育長 平成27年度の古里小学校ではオーストラリアからの留学生を招待し、英語でのコミュニケーションを通して「おもてなし」の心を育てることができた。平成28年度は小中学校にパラリンピックに出場・出演した方を招き、障害を持つ方との交流により、障害者理解を促進することができた。平成29年度は出場経験のあるアスリートを招き、スポーツ志向を高める機会を提供していきたい。



10番 村木征一議員

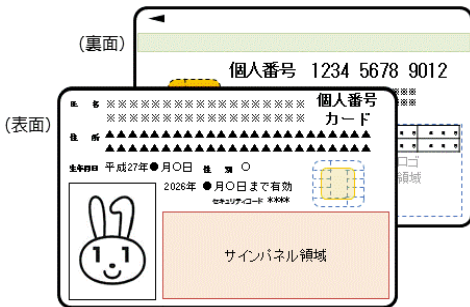


**問** マイナンバーカードの申請状況と今後の申請サポートは。

**答** 申請率8.5%、交付率6.9%と少ない。引き続き申請写真用の無料撮影サービスを行っていく。

村木 ①現在の申請状況、取得状況は。②申請用写真の無料撮影サービスや郵送による受付の実施予定は。

町長 ①平成29年1月31日時点の申請件数は450件。1月1日現在の人口5千270人に対する申請率は8.5%、交付件数は365件、6.9%と少ない状況にある。②町では申請時等に、申請写真の無料撮影サービスを行っており、引き続き来庁時や、休日臨時開庁時などを通じて無料の撮影サービスを行っていく。郵送により申請を行えるかについては、マイナンバーの証明と本人証明が1枚で行える大切なマイナンバーカードを受け取るには、必要書類を始め、厳重な本人確認、さらに暗証番号の入力など、厳格な手続きとなることから郵送で交付することは行っていない。



5番 小峰陽一議員



**問** 災害発生時に対応可能な大氷川地域の道路環境の整備を！

**答** 現況調査を行い限られたスペースのなかでの道路構造物等の改修、視距改良等の改善を図っていく。

小峰 大氷川の地形は急峻な場所が多く、住居が密集・点在しており、施工には困難が予想されるが安全・安心して「住みやすい、住み続けたい」町づくりの計画的な実施を。

町長 生活道路は、循環型の道路が理想であるが、大氷川地域の地形は急峻な場所が多く、特に踏切上の路線は、道路を挟んで左右に住宅が点在し、高低差もあるため、拡幅や循環型の道路整備は極めて困難な状況にある。また、道路を拡幅等する場合は、用地や物件等が関わってくるので土地・家屋の所有者のご理解ご協力が必要となり、合わせて地域の皆さんや自治会の皆さんのご協力がなければ実施することができない。このようなことから大氷川地域の道路整備に関しては、現況調査を行い限られたスペースの中での道路構造物等の改修、視距改良等の改善を図っていくよう考えている。



## 4番 清水 明議員



## 問 白丸ダム魚道に至る国道の歩道整備を！

答 国道411号線の安全対策のための改良工事の要望を引き続きしていく。

清水 棚沢地内の国道は歩道が狭く、白丸ダム魚道周辺の国道も走行車両に危険を感じることもある。歩行者への安全配慮が十分なされているか疑われる。安全な歩道の確保が必要では。

町長 毎年、東京都西多摩建設事務所に対し、国道の拡幅及び歩道の設置について継続的に要望しているが、西多摩建設事務所においては、多摩川南岸道路の早期開通を優先に事業を進めており、道路拡幅及び歩道設置については、多摩川南岸道路全線開通後に検討させてほしいと回答を得ている。町にとつても、いつ大災害が発生するかわからない状況にあることから多摩川南岸道路の早期完成は優先すべき事業と考えている。町は、平成23年11月に西多摩建設事務所と協議を行い、歩道のない鳩ノ巣トンネルから白丸までの間に、「歩行者注意」という注意喚起の看板を設置。歩行者の事故防止に努めている。

## 《その他の質問》

清水 省電力への取り組み（①公共施設・防犯灯のLED化②集会所等への太陽光発電の設置）は。

町長 ①計画的に防犯灯のLED化について前向きに検討していく。②施設毎に条件が異なることから慎重に検討していく。

## 問 施政方針について。

答 少子化対策、若者定住化対策の充実を図り、高齢化対策につながるように総合的に実施していく。

## 2番 大澤 由香里議員



大澤 子どもが高校卒業後も定住し続けられる施策が必要と考えるが①奥多摩木村奨学会の育英資金貸付制度のPRを。②老人ホームへの町独自の支援制度の構築を。③若者以外にも家の購入やリフォームに対しての特典や補助を。④移住して来てくれた方の情報や知見の活用は。

町長 ①町HPにリンクを貼ることや広報掲載、子育て支援・若者定住促進ガイドブックに載せ、PRを検討したい。②町内施設や町内企業で働ける方に若者住宅やいなか暮らし支援住宅等の選考時にポイントを加算することを実施し、定住につなげる検討をしたい。③町の喫緊の課題である少子化対策、若者定住対策への対応を重点的に実施する政策的な観点から優先順位をつけて実施していることをご理解いただきたい。④「元気なまちづくり委員会」を設置し、その委員の多くは、町に移住してきた方々であり、素晴らしい発想やご意見をお持ちで様々な場面で町の事業に参画をいただいている。

## 《その他の質問》

大澤 買い物弱者支援策について。①該当者の実態把握は。②支援の取り組みと今後の対策は。③食料品移動販売業者と町との連絡システムの構築、情報交換、支援は。

町長 ①日常生活圏域ニーズ調査を3年に1度実施。要介護認定を受けていると答えた方で支援が必要だと答えた方は81.5%でした。②買い物に困っている方への施策として、地域ささえあいボランティア事業を実施。今後事業のPRを努めていく。③地域見守りネットワーク事業を構築し、生協職員が配達時に異変を感じたら、町、警察、消防に通報するという協定を結んでいる。民間事業者への直接の支援は難しいと考える。交通環境の整備等、側面的な支援を積極的に行っていきたい。

## 問 女性消防団員確保の推進を。

答 地域防災力の充実強化のため方策を検討していく。



宮野 地域防災に重要な役割を果たす消防団員数が不足している。女性の持つソフトな面をいかして避難誘導や手当てを担う等、地域防災力の充実強化の為、参画しやすい環境を整備することが必要では。

町長 町消防団においては、平成10年6月に町として初めて女性消防団員の入団があり、本部付けの団員として平成23年3月まで毎年数名の団員が在籍し、有事に備えての応急救護訓練、教養訓練、広報活動、式典の事務などで活動していたが、結婚などの理由から全ての団員が退団され、その後は入団者がおらず、現在、在籍している団員はいない。町の現状では、若い女性が少ないこと、各自治会でも女性の方々が自治会の様々な役職を担っていること、夫が消防団員として活動している方も多くいることなどの事情から入団していただくことは厳しい状況である。女性が地域の安全、安心の確保のために果たす役割は益々高まっているところであり、女性消防団員の役割整理、女性が入団しやすい環境の整備も図るとともに、地域の防災組織の一員として、女性の地域防災リーダーとしての活躍を推進するなど、地域防災力の充実強化のため方策を検討していく。

## 議会 日誌

### 2月

- 1日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会
- 2日 奥多摩町・檜原村議会議員合同研修会
- 4日 奥多摩消防署落成式
- 6日 岩手県葛巻町議会議員・町長行政視察来町
- 9日 西多摩郡町村議会議長会議員研修会
- 10日 西多摩郡町村会表彰式
- 13日 総務文教常任委員会視察研修健康づくり推進協議会
- 15日 西多摩地域広域行政圏協議会審議会
- 16日 東京都町村議会議長会総会
- 17日 西多摩郡町村長・議長合同会議
- 18日 青梅マラソン開会式
- 23日 秋川流域斎場組合議会定例会
- 24日 西秋川衛生組合議会定例会
- 27日 経済厚生常任委員会視察研修

### 3月

- 5日 おくたま作文コンクール表彰式

### 4月

- 10日 東京都平和の日記念式典
- 17日 中学校卒業式
- 奥多摩木村奨学会合同会議
- 下水道事業運営委員会
- 21日 ふれあい広場フェスティバル実行委員会
- 24日 小学校卒業式
- 30日 小口事業資金融資制度審議会
- 2日 奥多摩山開き式
- 3日 青梅・奥多摩交通安全のつどい小・中学校教育管理職教職員等辞令伝達式
- 6日 小学校入学式
- 7日 中学校入学式
- 9日 体育協会総会開会式
- 9日 消防団任命式
- 18日 議会だより編集委員会
- 20日 青梅警察懇話会・交通安全協会・防犯協会主催署長歓送迎会
- 21日 体育協会定期総会
- 22日 社会福祉協議会福祉バザー
- 23日 消防少年団入卒団式
- 24日 防火防災協会・消防懇話会合同署長歓送迎会



# 奥多摩町議会常任委員会視察研修

## 《 総務文教常任委員会 》

平成 29 年 2 月 13 日（月）

2 月 4 日に落成式が行われた奥多摩消防署新庁舎を視察しました。大災害時に西多摩地区の西部の防災拠点となるための、施設、設備が整えられている庁舎であることなどの説明を受けました。この新庁舎が今後住民みなさんの防災意識の向上や自治会、防火・防災関係諸団体の研修・訓練などにも活用されることを期待するものであります。



自衛消防隊が水出し訓練も出来るスペース、設備を備えた屋上

## 《 経済厚生常任委員会 》

平成 29 年 2 月 27 日（月）

木質バイオマス循環システムについて関係施設の現場視察を行いました。同じ材料、同じ加工方法でも地域事情により用途や需給関係の違いがあり、そのことは事業展開においていろいろな選択肢もあることを実感いたしました。今後の木質バイオマス事業における可能性をも感じた研修となりました。



埼玉県長瀨町の現場

## 第2回定例会

6 月 13 日頃からを予定しています。詳細は、町ホームページ、防災行政無線でお知らせします。皆様の傍聴をお待ちしています。

## 編集後記



大相撲春場所では、会場は連日満席で大いに沸いていた。それもそのはず、19 年ぶりの日本人横綱稀勢の里の誕生である。また、17 年ぶりの 4 横綱での大相撲が人気のまともでもある。しかし横綱白鵬が途中休場でその一角が崩れたが、新横綱稀勢の里が踏ん張りを見せて、千秋楽で驚きの逆転優勝を果たした。過去には力士の賭博問題で、相撲界が大きく揺れ最悪の事態であったことは、まだ記憶に新しい。待ちに待った日本人横綱の誕生とともに、大相撲は大人気で懸賞は 15 日間で過去最高の千九百本（従来千六百本）で三百本も増加している。力士をはじめ相撲界に携わる多くの方々の努力により人気が大きく変化している。空前的相撲人気で多くの人々に喜びと元気を与えてくれたことに感謝したい。

澤本 幹男 (原島 幸次)  
村木 征一 宮野 亨  
師岡 伸公